

# OPU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OPU students



## プロフィール (Profile)

氏名 (Name) M.T  
所属 (School) 地域保健学域 看護学類  
学年 (Grade) 4年

留学先 (Name of overseas institution)  
Mahidol University in Thailand  
留学期間 (study abroad period)  
2019/7/30~2019/8/12

記入日 (Date) 2019/8/15



## 留学レポート Study Abroad Report

今回2週間タイのマヒドン大学へ留学し、短い期間でしたが、とても貴重な経験をさせていただきました。内容は施設見学、他学生との交流、学会参加などです。初めてのことばかりで行く前は少し不安もありましたが、マヒドン大学の先生方や学生が温かく迎えてくださいました。1週目は私たち学類生4人だけでしたが、2週目は聖路加国際大学(SLIU)/台湾大学(NTU)/台北医学大学(TMU)/慈濟大学(TCU)/ガジャマダ大学(UGM)の5校からも看護学生が来られ、一緒に病院見学やアクティビティをしました。



初日に、タイのヘルスケアシステムについて講義を受けました。タイには universal coverage card という I Cカードがあり、このカードには生まれたときから今までの病歴や使用した薬剤などあらゆる情報が入っており、どこの病院にかかってもそれらのデータを閲覧できるようになっていると聞きました。日本にはないシステムなのですごく興味深かったです。

また、タイでは医療職者だけではなく特別な講習を受けたボランティアの方々(100軒に対して5人程度)が地域住民の健康を守っていることも知りました。

### <施設見学>

Health Promoting Hospital (左)と Nurse-Led Primary Care Clinic(右)

スタッフは全員看護師。実際に訪問について行かせていただきました。訪問に行く途中、ボランティアの方にも会いました。スタッフの皆さんがとても丁寧に説明して下さいました。



→他にも Thai Traditional and integrative Medicine Hospital に見学に行きました。タイには西洋医学の医師がいて、マッサージで筋肉痛などの身体の痛みを軽減し、漢方でがんの予防や対症療法を行っていること、また、100種類以上のハーブを一人一人の症状に合わせて調合し、治療の一つとして行われていることを知りました。





→大学内にあるシュミレーションルーム。ここには、乳児から成人、妊婦まで様々なモデルがあり、専門のプログラマーの方が、あらゆる状況を設定できます。見学以外に体験もさせていただきました。実際に脈が触れたり、心音・呼吸音も聞くことができるのでより対応力や技術を身に付けることができますと思いました。



ラマティボディ病院内のセルフヘルプグループ→ここでは、永久気管孔をもつ患者さんのセルフヘルプグループの活動について講義を受けたり、実際にどのようなトレーニングをしているかなどを見せていただきました。永久気管孔となった時は誰とも話したくなかったと言われておられた方が、今はトレーニングによって日常会話ができるようになり、笑顔でトレーニングの成果を見せて下さり、セルフヘルプグループの存在は大きなものであると感じました。

### <プレゼンテーションとアクティビティ>



日本のヘルスケアシステムについて発表しました。タイには介護保険がないので興味をもってもらえました。発表のあとは日本の文化の紹介をし、学生と一緒に折り紙をしました。どの学生も楽しんで作ってくれていたのが良かったです。

タイの学生が考えてくれたアクティビティでは、タイの遊びをしたり、タイの民族衣装を着たりと多くの学生と関わる事ができ距離も縮まりました。



四か国の看護学生が混ざったグループで、1つの議題について話し合い最後に発表もしました。





最後に…

今回、海外の病院を見学し、どのような医療・看護が行われているのかなど実際に行って見て、感じることでしかわからないことはたくさんあると思いました。そして様々な国の看護学生と交流する機会は少なく、この留学での経験は、学生だからこそできることだと思います。

帰国した今、2週間留学して本当に良かったと思っています。このような機会があればまたぜひ参加したいです。

先生方をはじめ、この留学に関わったすべての方に感謝しています。ありがとうございました。

